

「吉祥寺駐輪事情」 六月24日

武蔵野市交通対策課長に聞きました
歩行者の妨げ吉祥寺大通り歩道の自転車をどう処理したか

東町の住民は、通勤通学買い物等、ほとんどの人が吉祥寺大通りの歩道を使っており、平成7年からこの歩道上が利用登録駐輪場化して以来、歩行者分が狭くなり、また夕方など、自分の自転車を出す際に邪魔になる自転車を引き出し、そのまま行ってしまう人が増え、歩ける部分が一層狭くなるのにも困っていました。災害が起きたら、これでは逃げるのも大変というほどのこともありました。

土・日・祝日には一層自転車が増える吉祥寺ですが、みずほ銀行の駐輪場を市が借り受け、一時利用の無料駐輪場としています(40台)。四月にはラオックス跡に吉祥寺パーキングプラザ公共駐輪場(定期利用 90台、一時利用 30台分)ができ、歩道上駐輪を一掃しました。

今回、市はさらに吉祥寺大通り突き当たり旧有里寿駐輪場に駐輪場を整備します。1階部分は商店の荷さばき場とバイクの駐輪場、2・3階は約70台分の駐輪場となります。六月末に説明会があり、七月に解体工事、九月から本工事を行って、来春二月オープン予定です。

タウンミーティングの折、歩行者が多い歩道であり、横断歩道の間際であることから、安全性について質問があり、吉祥寺まわりの事務所長から説明がありました。

◇車は現状の切り下げ部分から出入り、

荷さばき場には4トント車以下とし、当然ガードマン等を立てる。夜間は出入りなし。初めは何十台にはならない想定です。(住民は相当数の貨物車出入りを懸念)。有里寿駐輪場前歩道には、九浦の家の公式掲示板があるので、解体工事の際一緒に撤去されぬよう申し入れました。自宅が駅から80m以内だと駐輪場を借りる権利もありますが、パーキングプラザの一時利用は2時間は無料です。買物の折自転車を使えるようになりました。ただ、住民には、買ひ物の5分間を店の前に止めさせてという願いはまだあります。

七月は「地域の諸問題」、八月「タウンミーティングを終えて」、九月「地域の諸問題」、十月「浸透樹と雨水タンクについて」



アジアを知ろうスリランカ編
アジアを知ろう スリランカ編が
始まりました。

上空から見ればインドの南にペンダントのように位置する島国スリランカ。長い英国の植民地支配、その抵抗から起こった仏教復興運動とシンハラ・ナシヨナリズム。独立後にはシンハラが権力を握ると反発したタミル・ナシヨナリズムが強まり、分離独立運動の形で長い内戦が始まります。政治と宗教、経済発展に助長される階層、民族間の優位不利。09年政府軍がタミルイーラム解放の虎を壊滅させたことで双方7万の死者を出した内乱は終結しましたが、インドとの不和など、観光地の顔だけではないスリランカの現状です。

「スリランカの民族紛争―歴史と現状」
スリランカ編1として、川島耕司国士



館大学政経学部教授に、九月11日、スリランカを学ぶ基礎知識をうかがいました。深刻な民族的分断、相互不信。なぜスリランカでは民族問題が暴力的なものへと展開したのか。シンハラ・ナシヨナリズムを拡大させた諸要因と現状を聞きました。いつも通り質問も活発でした。詳細は次号で。

九回になった 木戸銭500円の
奇数月第四水曜九浦の家落語会

三遊亭橘也さんの会も9回となりました。七月28日は猛暑と地域行事が重なったため、少々お客は少ないながら「元犬」と「千両みかん」をじっくり。九月22日も再び猛暑でしたが「本膳」「蝦蟇の油」「目黒のさんま」の3席を熱演。声量十分、緩急強弱自在になれば楽しみです。

お知らせ

- 使用の決まりを一部変更します。
- ◇予約は5名以上の決まりですが、児童室に限り3名で予約できます。
- ◇当館では「近所への迷惑」を判断基準に、ピアノ、金管楽器、打楽器などの夜間の利用をお断りしています。ギターなどは可能です(アンプ使用を除く)
- ◇緊急地震速報機が入りました。速報から揺れまで10秒ほどあり、館内には窓口担当が、ハンドメガホンのサイレンで知らせます。室内で安全を確保するか窓を開けて庭に避難してください。

東コミ局
センターからの
お知らせ
10. 10. 01

- ▼子供囲碁の会は、こどもたちが多忙で休みがちになった代わりに、付き添いで来ていた方が熱心に学び始め、ほぼ大人への囲碁手ほどきになったため、七月より「囲碁入門教室」に変わりました。初めての方はこちらへ、石の生き死にが判るようになられた方は「初級囲碁」どうぞ。
- ▼「囲碁を楽しむ会」の「第38回九浦の家囲碁大会」が九月26日午後エントリー30名で行われました。遠方からの参加者も。
- ▼七月15日植木の剪定時、ヒノキにカラスの巣。定番の針金ハンガー製です。
- ▼タウンミーティングの際アコンから水漏れしました。新規付け替え要求中です。
- ▼当館備品中、車椅子の貸し出しが予想以上です。今ある車椅子は重くて扱いにくく、左にかしぐ癖があるので、新機種の要望が出ています。
- ▼東町夏の一大イベント本宿盆踊りで、九浦の家はビールと枝豆を担当。十月の東部福祉の会フェスティバルには、前年に続き、東部地区お医者さんマツプで参加します。
- ▼川上村本宿地区ジャンボリーに、九浦の家運営委員の林・小林の2氏と、窓口担当の若者の山本・周詞・天野の3名がサブリーダーとして参加。
- ▼運営委員の若返り、協議会の活性化という大課題に取り組む「人材発掘プロジェクト」チームがスタートしました。
- ▼本宿小と第三中学の毎月の学校便りは、受付前の掲示板に掲載してあります。
- ▼窓口担当高木麻衣子さんと山本駿吾君の後任に八月から木下奈津子さんと松尾優一君が就任しました。
- ▼吉祥寺東コミ電話は二一四一四一

街づくりができるのは、そこで生

言えませんが、必要な施設ですので、いざれはどこかに造らないといけない。女子大通りの下に管を通すのは、工期的に長時間で費用が高い。長い工期はなおさらいろんな方に「迷惑をかける」ともある。両方の比較は必要かと思うが、現時点では記念講堂跡地に造る方がベターと判断している。

Q 何でも案が出来てしまつてから住民に話す。これを変えることは出来ないんですか。三月に、汚水槽に関しての話を聞き、3回説明会に出て学んだのは、合流式の下水で大きな迷惑を他の町村にかけていることでした。越流の6割は雨水で、その雨水をどうするかを論じないで貯留槽を33m掘つて一万リあれば済むのでは納得いかない。説明会の後「東町合流改善洪水対策を考える会」で、屋根に降る雨を下水に流さないよう、雨水タンクと浸透枳を各家庭につけるための全額補助を陳情しました。そういうことから始めるべき。

A 全市的に雨水対策を展開している。各小、中学校に大型の雨水貯留浸透施設、住宅地内の市道は舗装がえ時に雨水浸透舗装にする。住宅の雨水浸透枳(2400基既設)を平成25年度までに3万基に増やす。ただ現実には、新規の住宅、集合住宅の協力は見込めるが、既存住宅は進んでいない。既存住宅の雨水浸透枳の設置数を増やしていきたい。浸透枳、雨水タンク助成など今ある手法についての課題を整理し、どうやったらこれをもっと皆様方にご活用いただけるのかというのをよく研究します。

Q 働きたいママたちが、待機児童が多く、保育園に入れる条件として就業証明書が要るから無認可に入らざるを得ないが、無認可に預けると20万もかかるかと悲鳴を上げています。これからの人たちが、子どもたちにやさしい街にしたいです。

A 待機児ゼロを目指す方針のもと、認証保育所、あるいは認可保育園の増設を行ったが、引き続き対応していきたい。 * * *

休憩後の身近な問題の部では、自立支援法の周知、過剰反応に見える個人情報保護を改善した箕面市「ふれあい安心名簿条例」を例に、武蔵野市での条例検討の提案、小さな公園増設の要望、武蔵野市に住んで60歳になるとこれだけ得る商店シニア割引制度などの提案、自転車の違法運転対策と指導の強化、セツトバック部分の私的利用への指導、空き家利用策、住宅地での吸殻禁止指導要望が出されました。

さらに、「市民が主役」という市長の公約だが、法政跡地関係では全部市民が最後になっていた。市民が主役になるというための具体的な策を聞きたい」という質問に対しては、核心に触れるお答えはありませんでした。(要約文責 九浦の家)

都議に「外環の2」をきく

八月20日(金)南町コミセンで、松下玲子(武蔵野選出)、浅野克彦(練馬選出)両都議に、外環についての都議会の反応を聞きました。二人とも都議会の外環推進議員連盟には不所屬。本線に対する立場は懐疑派と原則賛成派、地上部については微妙な差が有る



盆踊りに福祉の会子どもスタッフクラブも浴衣の大学生の応援を受けて出店 ↑

も反対の立場ですが、大方の都議が外環には関心薄とのこと。また都議会を質問に立上げる機会は極めて少ないそうです。

「外環地上部道路について話し合ひの会」(7/28ゼロワンホール)

やと本題かと思われた今回も、東京都側から、昭和41年決定時の議案書など請求していた資料が出ず、そのための質疑に時間が費え本論には入れません。濱本氏からは41年当時に示された図面と、平成20年に出された資料の本線部分の図面の相違ほか質問が文書で出されましたが、都からは明確な答えなしでした。

市議と「外環道路」を話し合う

九月27日(月)午後、市役所全員協議会室で、「外環2」を中心に、これからの南町、東町のまちづくりをテーマに外環道路特別委員会議員と市民が懇談しました。

東町では、六月〜八月末事件発生なし。事故は七月末〜九月末の間、一丁目自転車同士1、二丁目車×バイク(駐在前)、車×自転車各1。いずれも軽傷でした。

◎八月25日本宿「ミセン」と東部福祉の会共催の武蔵野日赤富田博樹院長の講演「これからの医者のかかり方」病院と診療所との連携について。武蔵野市の医療の先進性や、病院と地域の診療所とのフリティカルパスによる連携で、退院後の病気の管理がスムーズに行われます。脳疾患のほかこの方式が瘧、糖尿病、肝疾患にも広がっています。炎天下50名が参加。

◎今年の本宿地区ジャンボリー、参加児童54名、内私立の子が4名も参加。今年の川上村は日中は30度、夜も半袖で過ごせる気温。お天気もまずまずながら、帰る日の午前中もすこい土砂降りにあい、160名と三つ大集団の桜堤地区と一緒だったため閉村式など苦労した模様です。

◎駐在天沢さん八月23日第三子誕生。
◎秋祭りに光云、四軒寺町会の子ども神輿と山車が、今年も幼児がいはい。
◎八月から二丁目大法寺で大工事。西側にあった地下納骨堂の建替えです。

◎雨水浸透枳タンク設置促進補助の陳情は、九月13日建設委員会へ採択される。

ムーバス 吉駅発7時〜21時

五月20日陳情した、ムーバス1号線の終バス時間延長の陳情は、六月23日の建設委員会へ、井部吉祥寺東、樋口本宿両コミニティ協議会代表が必要性を陳述し、「武蔵野市地域公共交通総合連携計画に基づき、早急に実施に入らう」という意見付きで、全会一致で採択されました。全体的な計画の中での見直しなので、来年一月、実証運行を経て本格運行に移行する予定。市担当は朝七時始発、夜九時終バスの吉祥寺駅発を考えているそうです。



活する私たちです。

この施設は合流改善に必要不可欠なもので、年間降雨日の半分以上は、雨によって希釈はされるが下水が未処理のまま善福寺川に流れ、下流域の方が迷惑しているの、25年度までの改善を武蔵野市としては約束をさせられている。

かつ、その1万トの貯留槽が確保できると、法政跡地の1万トと五日市街道の下の2万数千トと、全市にわたる雨水貯留浸透施設等を積み重ねれば、北町などの水害被害が減少していく。ぜひそのような理解のもとにこの事業についてご協力いただきたい。丁寧な経

ただ、この下水道総合計画はパブリック・コメントを行い、一定の意見を聞いて公表をし、かつ議会報告もした。個別の対策は、細かい説明をしなかったら皆様方に伝わっていなかったのかと思う。

具体的計画の中で、女子大

過説明という点では不適切というか足りなかつたが大変反省している。

Q 公園用地として取得が、なぜ突然下水道用地として取得になるのか。

A 事業の補助等を考えると、下水道事業で取り組んだ方が補助額がすごく大きい。実態は全部防災的な公園にしたい。見かけ上は公園で、下の事業費が大変かさむから下水道事業として採択した。

Q 全て雨水の貯留槽という説明が、汚濁雨水貯留槽に代ったのはなぜか。

A 武蔵野市の下水は通常の汚水も雨水も一緒の合流管一系統になっている。貯留は大雨が降った時のものなので、汚濁水という呼称になる。汚濁水を善福寺川に越流させない取り組みなので、雨水というのは不確かかもしれないが、武蔵野市の下水の場合は汚濁雨水という表現できていた。不親切な説明で大変申しわけなかつたと思う。

Q 長期のインフラの問題なので、補助金をあてに一時凌ぎのことをやるよりは、分流方式にできないか。

A 武蔵野市は下水道整備を早期に始め、極めて早い時期に100%達成したので、全体のリニューアルも不可欠です。ただ長期的にでも分流式にというのは難しい。市内の道路二百数十キロ、そこに下水管等がある。そこにもう一本新管を敷設するのはとてもない事業で、莫大な額になつて現実的には難しいのではない。

Q 生活道路流入車の削減および、車の速度、大型貨物車など、道路規則を

守れない車を取り締まれないか。

A 東町二丁目も、中に准幹線的な道がないから東十一小路などが准幹線的に使われているので、この広い街区を守るには、交通上は大変難しい。交通規制を思いがちなが、この地域でも自分たちが使っている道なので、現状でも満足という意見もある。皆が通過車両反対、大型車両は通行規制しようという合意が出来ればやりやすいが、現状では必ずしもすべての声が一致してはいないと思う。住宅地なので、通過車両は今以上に減らしたいし、大型車両は極力通したくないので、警察に対して要望している。全体的な交通体系、東京都とも連携をしながら、この広域的な交通をスムーズにネットワークさせられるか追求したい。

Q うちには法政記念講堂解体で想像を絶する被害を受けた。今度は隣に30m掘り、1万トの貯留槽の工事をすると。一部の市民にしわ寄せし、公共事業だからと我慢させられなくてはいけないのか。貯留槽ありきで話がどんどん進んでいるのは不愉快です。今日のテーマは「住み続けられる街づくり」ですが、我が家は武蔵野市の工事のせいで、住み続けられなくなりそうです。

A ご意見はわかりました。心配多々だと思います。ですが、私どもは施設の必要性を重々感じております。ただ強引にすることはない。安心・安全な工法で、ご迷惑をかけぬよう最善をつくしたい。

Q もう造らない、他に方法を考える余地はないですか。シールド工法もある。

A 造らないということは今の時点では

東町ニューズ 暑い夏でした。

- ◎七月17日、つるかめらんど西に、インドの布地の店が開店。パナソクの姉妹店です。
- ◎東町での営業なしの燕、ゆとりえ玄関の軒に巣をかけ、七月末雛4羽が巣立つ。
- ◎七月15日九浦の植木の剪定時、ヒシキに定番の針金ハガキ製の巣を発見。
- ◎五日市街道ケユカ、伊勢丹跡にできる「ピ」に移転です。
- ◎五日市街道婦人服 Bougeois、九月で閉店。
- ◎ついで小路に飯塚歯科医院が九月開院。同じ通り今野電機隣「FOUNTAIN GRAPHICS」。
- ◎花火万歳の本宿地区盆踊り。八月21、22日両日、本宿小学校庭では5時から子ども向けゲーム、6時ごろから各地域団体が担当する、お馴染みのお店が開店、櫓の太鼓を聞きながら、沢山の住民が夏の宵の縁日を家族連れで楽しみました。25日は8時から、本宿名物の花火大会で、自称本宿花火師連中による巧みな構成の打ち上げ花火と、仕掛けの瀑布を、真後ろに昇るまん丸の月が絶妙に盛り上げました。参加者は両日で1400名超。この盆踊りは、稲荷町会の提灯をもらいつけて昭和55年PTA主催で始まり、青少年協力を借りて共催に、さらに主力を青少年協力が担う期間を経て、やがて地域の諸団体を巻き込んだ実行委員会方式となりました。子どもたちに日本の夏の思い出を持たせたいという一点で大人たちが結集しています。ポスター協力西原理恵子さん。22日にはわんぱく相撲本宿場所も開催。出店数15、参加団体28十有志の本宿地区盆踊り実行委員会主催

第33回市民と市長のタウンミーティング

速報

吉祥寺東コミュニティ通信

きゅうほ

九浦の家づくり

●NO89 2010.10.01

吉祥寺東コミュニティ協議会
● 武蔵野市吉祥寺東町
1-12-6
吉祥寺東コミュニティ
センター(九浦の家)
●電話0422-21-414

八月25日(目)夜、吉祥寺東コミセンで、市民と市長のタウンミーティングが行われ、市民協働推進担当の大杉部長と九浦の家の山口智章氏の司会のもと68名の参加者と邑上市長の間で、緊張した応答が厳しくも紳的に交されました。

九浦の家では法政第一跡地マンション建設問題が一応決着し、工事を開始した頃の平成19年11月以来二年半ぶりの開催です。討論前に、前回出された課題への市の取り組み、進捗状況の説明がありました。

今回は、同じ法政跡地(公園予定地)に、住民には降つてわいた「合流式下水道の改善対策及び浸水対策のための貯留槽1万m³整備計画」の説明が進行中なので、都市整備部長ほか担当参事など、市の担当者が同席しました。

Q 東町2丁目交通問題

東十一小路、宮本小路抜け道化を巡り平成8年から二丁目道路問題協議会として取り組んで検討会約30回やつた。最終的には警察で行き詰まっている。もし青梅街道にインターチェンジができれば、今から対策しておかないと、この通りはさらに大変なことになる。

A 邑上市長

平成14年にボラードなど装置を作り大変注目をした。東十一小路の交通量は整備前の14年2月と平成22年2月ではほぼ半減している(住民がウマを置き見張りに立つ効果も含む)。さらに流入を減らすには交通規制の方法もあるが、武蔵野市のほか周辺自治体、周辺の警察(複数の警察署の管轄)が絡む。それぞれの警察に個々には言っているが、警察は車をいかにスムーズに通すかが基本なので、市の要望は具体的なことまでは議論がされていない状況である。

外環道整備後の周辺交通への影響については、国、東京都から我々に細かく伝わっていない。データ提供を強く要望している。予測がないと我々も対策しかねるので強く要求していくし、外環が出来てからどうするでなくて、外環問題については、その課題について市としてどう考えるのかをよく検討していきたい。

Q 外環本線の大深度化について、地下水、排気への影響、周辺交通への影響に国交省は答えない。外環ノ2は地域を分断する。市が積極的な態度を示せ。

A 外環本線は大深度地下で事業に向かっているが、そのまま造っていいとは言っていない。対応の方針でも武蔵野地域について、課題解決に向かつて情報提供も

し、検討すると明言されているので、厳しく申ししていく。

外環ノ2は、私自身も本当に必要なのか大変疑問を持っている。要らないんじゃないかとも思っているが、東京都が必要性の有無から議論する場として今話し合いの会が行われているので、これは見守るしかない。一方で市として意見を言う場面の準備の必要は認識している。

外環ノ2が計画された背景は、今から40年以上前、東京の交通混雑の解消目的だったが、いつの間にか災害のため、緑化、環境保全ため、暮らしを充実させるためと、当初に比べ膨らんでいる。幅広の道路なので、地域を分断することを私も心配しており、東町、南町が大きく二つに分かれ、街づくりは大変マイナスではないかと思うので、なぜ必要かについては東京都にいろんなデータ(交通、環境など)を提示してもらい、われわれが議論できるようにお願いしているので、住民の皆さまは「話し合いの会」で意見を出してほしい。

Q 合流改善のための貯留槽計画

平成19年2月、市の地区計画素案説明会において、北町の広範囲が水害に見舞われたが、女子大通りが下水管経路になっており、雨水貯留槽を造れば北町の水害を防げる」との市長発言と、配布資料に「浸水対策のための貯留槽や、法政通りと女子大通りの狭い歩道に面した部分に広い歩行者空間を整備することによって、安全、安心なまちづくりができる」との一文がある。この時点では合流改善のための説明はなかった。市は、この2点で、今回の合流改善のための汚水貯留槽設置を住民に説明したという認識か。住民への説明が不足だ

予告

東部福祉の会「暮らしに役立つアフエ
ステイブル パート」10月24日
本宿小体育館と校庭 はしご車も来る
アジアを知らうスリランカ編 第2回
「スリランカの開発と人々の暮らし」
10月30日(土) 午後2時
お話 高桑史子首都大学東京教授
九浦の家フリーマーケット
11月3日 10時半〜午後2時
九浦バス研修 11月24日(行く先
申し込みは11月1日号市報で)
本宿「ミゼン」の11月6・7日
外環地上部道路についての話し合い
11月15日 夜7時〜9時
傍聴できます。場所は市報で。

という認識を改めていただきました。

A 浸水対策以前に、平成16年度前市長時代に合流改善計画が策定されていた。平成17年9月4日の大雨で、水害被害が市内各所で起きた(市長空席期間)。半年間ほどかけてプロジェクトチームで検討した結果、女子大通り地域に約1万トンの貯留槽、あるいは五日市街道の下に2万数千トンの貯留槽、全的に様々な雨水貯留浸透施設を設置、家庭の雨水浸透樹の設置等々を積み重ねて行うことで、北町を含めて浸水被害を防止できるということが挙げられた。その後、武蔵野市下水道総合計画(平成21年3月策定)で合流改善、水害対策等を提示した。

同時期に法政跡地の問題があり、私の説明では、合流改善と浸水対策と二本立てのうち浸水対策を主として説明してしまつたため、皆様方に合流改善の必要性を伝えきれなかった。